

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

十三

三葉閣係記録

外務省

国立公文書館	
分類	持株
排架番号	3 B
	14-13
	④4905

4905

財閥関係役員審査委員会会議事録

一 昭和廿三年二月二十日 午後四時三十五分開会

一 外務省自合議室に於て

○上田委員長。

本日は財閥同族支配力排除法第十

四條に基きまして三菱財閥並に本社の関係会社

に對する人事統制を中心とする御説明を伺いたい

と思ひましておかく御足踏力を願つたのであります

外務省

裏面白紙

か、御承知の通り同法の第三十條にはその説明
中虚偽の申立があったり又かく立てかあったり致
しますと刑罰の制裁がなされます。その點は申す迄
もないこと存じますか、どうぞ十分御注意願いたい
と思ひます。なお御説明は約三十分位に願ひまして
後は委員の方々の御質問にお答えして頂きたいと
思ひます。 時間が短くて御気の毒でございますが、そ

外務省

裏面白紙

ういうことにはいいと思ひます。

○石里氏。 會社の方針とか運轉の方針とかというこ

とでなく、人事のことを申上げるのでありますか。

○上田委員長。 人事統制を中心にして市説明願ひない

と思ひます。

○石里氏。 私の方では作りました。此の業界は人かに関します

ものを御手元には差上げたいと思ひますが、間に合ひませ

外務省

裏面白紙

んかん極めて簡單にありますが申上りて置きます。

御承知の通り、三菱の任事は藍布志の頃に土佐藩

の大阪における藩商會というものがありましたのが、それが

山崎邦太郎の譲受けるところとなりました、それが

ら発展して参ったよるな次第でございまして、これらの

點は物語りにもなつて居りますので、皆えんのお耳には

十分お分りになつて居るものと思ひますが、明治の五

外務省

裏面白紙

年から八年にかかりまして例の郵便汽船三菱會社
 を作りまして海運のこゝをやつたのが主になつた譯が
 あります。海軍知の通り明治十五年に官民合同
 で作りました共同運輸會社と自熱的な競争を
 やりまして、その結果のつめなりのうちに初代の社長であ
 った岩崎孫右郎は亡くなつてしまつた。その後を
 実弟の孫之助が継ぎまして、同時に郵便汽船三菱

外務省

裏面白紙

會社なるものが共同運輸會社と合併致しまして
新しく日本郵船會社というものを設立致しまして、海
運事業の一切を移すやて新會社に移りました次第
で、その後に残りました釜山、山灰坑、汽船、銀行
というようなものが今日の三菱の事業の基礎となして
まゐるような次第であります。

明治三十二年に初めて資本金五百萬圓の旧商社に

裏面白紙

よりまして三菱合資会社というものを作りまして、社
 長に岩崎久弥、副社長に弥之助氏が就任して、こ
 れで初めて今日に成りました。所謂三菱本社の下に
 傍系会社を持つという形態の初めが、あまた譯であり
 ます。

合資会社時代は相當に永く続きました、これが昭和
 十二年迄存続して参つて居ります。この設立當り

裏面白紙

時の様子をいかに差上げます書類で御意見を承つて頂くこと致しまして、その旨を色々の改革を致しまして、
たり、経済上の要請を経まして、所謂弥之助さん
の守勢時代というものを経たして、この前の歐洲第
一次大戦の時を期と致しまして大正五年の七月、松
度わが國の経済界も非常な発展を遂げ、私の方
の會社も伸張を遂げました為め、それく、この機

外務省

裏面白紙

會の各分系會社の独立を始めて、その順序
 を假りに申しますと、大正六年の十月に三菱造船
 株式会社、三菱製衣株式会社。七年に三菱人足
 庫株式会社、三菱商事株式会社、三菱鉱業株式
 會社の他に三菱海上火災保險株式会社、三菱
 銀行というように夫々独立を遂げまして、そして夫
 々の基礎が固まって大丈夫というところに来ましたから

外務省

裏面白紙

各社の株の公開を致しました。これは岩崎家が仕
事を専らに、利益を壟断するといふような謗を
免れるといふ、パブリックに仕事を持って行かなければな
らぬという精神と、それから勿論、外部の資本を入
れ、事業の強化を図るという二つの面から致しまし
て、三菱造船株式会社の株を大正九年の三月に公
開いたしました。皮切りと致しまして、昭和二年には

裏面白紙

信託を公用し、昭和四年には銀行を公用し、九年
に三菱造船、般重工業にして現存の重工業を公用し、
次に電機倉庫と昭和十三年に、商事を十三年
に各々公用致し、本社は昭和五年の八月に初
めてパブリックト株を出すといふこととなり、その
後に化成、製鋼といふようなものを公用に道まきまし
て今日に至つたといふような次第であります。

外務省

裏面白紙

なお人事の問題に觸れます。前記、
 亡くなられた
 前の社長の岩崎小弥太氏に色々お話を伺ったり、
 説明をお聴きしました。—— どういう精神で三
 苦といふものを運ぶか、して行くかといふことを御参考しま
 してにお身に入れる置きたいと思っております。
 色々世帯にも言はれて居られますように明治の初期
 弥太郎の時代は、これは相當話題を振はし

裏面白紙

たような色々の問題も浮かびます。結局合資会社の
基礎が固まりました。その頃からというものは三基の
傳統の市場というものを段々育成して参つたのであ
りますか、それは國家から生産という重大なる任務
を委託せられて居るのだ、それであらうわね、の進
ぶ方向は國民民福を図る線で行かされるはなほ
ないめで、生産並を經營する以上利潤を離れとは

外務省

裏面白紙

事業は成立して行かざらば、これは自明の理である。

この利潤の用途を如何に公正なる分配をして行

かち付けねばならんかといふようになった念願を置きて、

目先の仕事——誰かやってもよい、おまるといふよう

な仕事には手をあずまい、これが本當に國の爲と

か民族の爲とかといふような仕事に對しては、つお

あるだけの力を盡してやて行こうぢやないかとい

外務省

裏面白紙

う、斯ういふ意味から事業の選定を熟して居た
 ような次第でございまして、事業の創達の立場
 におきましては、これは皆々も御承知の通り、相當
 に色々な困難に費いまして、事業の潰れてしまは
 ないかというような場合にも度々面して参ったのであり
 ますか、拮据經營を致しまして、それを段々月成し
 て参りまして、先程申上げましたような過程を

外務省

裏面白紙

經まじり、大きくて水はこれを一括独占するということと
 一なりて、公用して行つたらよいと申し入れて居りました。
 これは餘談に付りますが、岩崎小波が氏かケンブリ
 ンが大監ふと出られ、直後、佐波高橋是清を
 生かす露戰争の公債の募集に英米に行つて居り
 ましたので、その時に緒に佐波とをさし、高橋さん大い
 に助けられたということ、非常に、親子の關係のよ

外務省

裏面白紙

いた、又おつと今年、離れた兄を尊敬するといふよるな
 態度で最後迄親を侍して居られまゝ、その
 高階えとも相話されて、事業がなり立ちなら、これ
 をパブリックに出して、民衆に利益を介かつといふこと
 をモットーとして行ければならぬといふのが、バフても
 三人の話がなりました。高階えからも直面目な
 アドヴァイスがあり、どういふ線に踏つて参りました

外務省

裏面白紙

こと、われらの方は奉公の大義に徹せよということ
を口々に、古くから言われて居りますか、これのゆゑも
すれば誤解を受けないとも言え所りのでありますか、
所謂この軍國主義に追随して、言ふの儘になつ
たといふのではなく、パブリックサービスといふ點で奉
公の大義に徹せよといふこと、われらに常に教えられ
て、その精神でやつて来たような次第であります。

裏面白紙

それから本社というものを残して、関係会社並に関
 係会社にマジョリティーを持ち、コントロールをして、リード
 するということがおかしいのではないかと、この方方もあります
 すけれども、日本の経済の発達の程度、或は民度
 の程度がどうということも考えて行きますと、中心がな
 らなくて、或は株主だけに委して行くというふうなことをな
 りますと、滅茶く／＼になる懼がある、勝手なまねをす

外務省

裏面白紙

るという面がありますので、その中心を作るというところ

事業の上にモラルを持つて行かないと、本業の事業は

あまないうたという信念から、本社を中心にしてやる未

だりがありますか、これはどこまでも**國**の本位の考えで

事の育成ということに力を致してまゐるよう次第で

つがいます。これ又色々批評もつがひませうけれども

也る参りまゝ大精神はまさにとれがあらうたのであ

外務省

裏面白紙

ります。

それが本社というものが株式会社になり、それを公開
 します。それから特に出る点に注意致しまして、岩崎
 家が独占して居たとか、或は壟断したとかというよう
 なことが假りにも言われることは面白くないという大
 る苦慮致しまして、社長別社長といふ^{ものも}実際にお
 いて仕事を直面目にやる呉れる人様者があ

外務省

裏面白紙

なら、公選で迎えるに答でないといふことも株式会社
 しました時—公選—した時に帰返—と聲を以
 して居るような次第でござります。それによ—ま
 しても、斯ういう形を取って来たことは封建制度の
 残滓—として面白くないのはなほりかといふ心配はない
 ではないか、これは比日エも脚車知の通り、経済界は
 生きて居ります。非常にラライカルなルリ方は面

外務省

裏面白紙

自らないうで、破壊に道なきよりにたい、革命
 的をやり方というものは、……で天張り長り歴
 史があり、飛躍を遂げて来たプロセスがありまして、
 旧奪を早く脱したい、もっと新しい方式で行き
 たいという方針を持って居ります。偶々支那事
 業が起り、引續して大戦争になり、斯ういふよくな
 面の改革を常に考へて居りましたにも拘らず

外務省

裏面白紙

実現を見えぬして終戦になり、解散を命じられる
 破目になつたという事は、わたくしにも出見(出見)に
 考えて居るような次第であります。
 なおこの財閥にもありますこととせうが、重役を
 各社に派遣するとか、工作して居るといふことか非
 常に壟断の手段がはなつかといふような考へ
 方をせらるる向もありますか、三菱と親(親)しては

外務省

裏面白紙

これび以て支配力をいふよるとかという考え方は
ちいさくありません。技術上の力を結集する為に
連綿を収め、事務上の発展、発達といふよると
點で、各社が夫々の力を結集して、お互に助け合
うという面を主として次第であります。私ども今
申上げました沿革の太要と、いろいろ精神で動い
て来たかということ、お分りにくかったかも知れませんが

外務省

裏面白紙

大任のことも申上げて置く次第であります。

○北原氏。 本社及び関係系會社の役員の人事に関する

実情は確かの差上げであるかと存じますので、御覧下

されたことと思ひますから、概略を申上げたいと思ひま

す。

先づ三菱本社と分系會社と岩崎家との間には

人事統制に関する取極はなにもありません。社長

外務省

裏面白紙

副社長が岩崎家から出て居ります以外に、他の家族
 は本社、合資會社には役員として入って居りないのであ
 ります。家族との間には人なほ譯であります。本社
 合資各社との間には別紙のようになおのしかりまして、
 別紙と申しますのは、別に刷つたものも差上げて
 あると思ひますが、その中に「合資各會社取締役」後
 監査役ハ三菱本社社長之ヲ推薦ス」という明文

外務省

裏面白紙

加に於きます。さういふ形を採つて居りましたが、突
際の運用については、それも別に書きて差上げてあり
ますように。本社の後継職を各系会社その他に派
遣する場合には本社のイニシアチブを取つて、アポ
イントした事実もあります。各社の社長が社長に
就任の場合には一應内部を済ませて本社に伺つて、
本社の社長の意向を伺つた上で決定するといふ実

外務省

裏面白紙

際の手続を繰りまして。その以外に、各社
 の後者の任命は各社に任して、本社は直接これに
 関與して居たという事実はないというのが実情であり
 ます。これが大体現在のものがあります。これを歴史
 的に見ますれば、合資會社の時代、株式會社に
 なる時代と、大体二段に分れるかあります。
 合資會社の時代は、これは完全に合資會社の使

外務省

裏面白紙

用人が各部の仕事を担当して居たのでありますが、
 その各部が分れまして、先程お集りの方から説明があ
 りましたように分業会社が段々出来て参りますか、
 その分業会社時代には大抵本社の役員がその
 儘分れた会社の役員に成る参ります関係上、本
 社の任命したというのが実情であります。と一々実
 際分業会社の役員も以藉を分業会社に置いて居

外務省

裏面白紙

ちといふのが當時の事情であります。しかしこれは株
 式會社になりまゝしてからはその制度を廢し、
 社名も株式會社にあらたに、この点についてハッキリ
 した聲明を出し、今後は今迄會社に借
 遣うといふことを廢めるといふことを申し、その
 後は進々と各社におつて育つた人か、そこから段々と
 選任されることになり、本社から各社の

裏面白紙

常務でありますか、社長でありますかといふところに、
 本社の方から行った人は、是れが無く行った譯であります。
 す。本社から分る會社、関係會社におくも居ります。
 者は、これはか常勤の役員でない、平取締役、平監
 査といふことで派遣した者は、申すは申す、申すは申す、
 ものは各社の中から段々成されたものか、それか
 各社の方の役員の銓衡、或は社長の裁断により

裏面白紙

ましなつたといふことになつたのであります。そのプ
ロセスは著ったものを讀んで及き石と思ひます。

○山田委員。本社の理事会といふものには分系各社の方は
出ますか。

○百鬼氏。理事会には分系各社の者はおません。本
社の役員のうちから理事といふものが、数名が選定さ
れて居ります。その連中が所謂理事會を構成

外務省

裏面白紙

して居ります。しかしこれは、本社の役員には大塚が
系會社の社長がなつて居ります。

○山田秀久。どの範圍で何社位ありますか

○谷尾氏。殆ど全部と申してよいと思ひます。

○北条氏。系會社の社長は全部であります。取

締後、監査役に入ります。各社の社長と一と出た

という譯では有り。

外務省

裏面白紙

○山田委員。他の関係會社の會合はありませんか。

○石里氏。関係會社の會合は殆ど皆にもありません。

○各系會社は協議會というものを本社に託けて居り

まして、其處で総務、人事に關する各系會社

に並ぶものにつれて打合せをする、ディスカッションをする。

○山田委員。協議會は月に何回位やりますか。

○石里氏。これは毎週一回を原則として居ります。

外務省

裏面白紙

し、この日に應じて同様の事か、休暇の付はるか
すことかあります。

○山田委員。協議会のメンバーは大抵何社位ありますか。

○石黒氏。会系会社の社長と、本社の常務役員。

○山田委員。会系会社と云うものは上社だけか、それ

以外に會系はありますか

○石黒氏。ごめいません。

外務省

裏面白紙

○平岡 彦。 本社の役員に合系會社の社長を平取締役
 後又は監査役に選任し、後に関係會社の社長もこ
 れに加ふるに至つたといふが、どういふ會社ですか。

○石尾 氏。 これは、自取の例を申上げますと、日本光
 學工業の社長が監査役に居つた、或は明治生命
 の社長が矢張り監査役になつた。 関係會社では
 そんなところではございません。 或は東京海上の社長

裏面白紙

そのらの程度で、それ以外に出るは居りませぬ。

○北原氏。 羽後守命の丸山英弥氏を監査員とあり

ます。

○石黒氏。 取締役はやゝ居りませぬ。

○平岡氏。 関係会社リストほどの程度に出る居ります

か

○北原氏。 斯ういふ形(国表を以て)のものがあります。

外務省

裏面白紙

の残倉氏。先程の會合と、この點が、本社に運輸會
 がありまして、財務委員会、作業委員会、技術協議
 連絡會があります。これは會社を代表したもので
 なく、個人の資格で色々の意見、意見を言わす、社長の
 頭を作るという事で、各社の連絡、協議をするというこ
 とがあります。各社の技術の研究で、生産性を上げる
 という事があります。高度國防國家ということが喧

外務省

裏面白紙

しくきはれたので、技術の研究は従来と違うことと
 重きを置いておきたい。財務の連絡會は財
 務方面でありまして銀行とか、信託とか金融関係
 であります。作業委員會は工場を持って居り生産
 もやして居る會社の技術方面の方に出して見ると、
 大体一冊位やっています。

石黒氏。協議會程に正確にはやらない……

外務省

裏面白紙

○山田安久。十一社に範囲をおなかつたのである。

○浅倉氏。そうである。

○山田安久。新規の人を採用する時は本社で御銚衡に

なりましたか

○石黒氏。ある事代迄は本社で銚衡にならして

各會社に配属して居りましたが、それは後で煩に

耐えませぬのか——私共は合資會社で採用され

裏面白紙

て、銀行、造船、鑛業という風に配属された仲間であ
 りますが、各社の自主性に委せ、遂に任じ
 しまったという格好であります。但し北条から申しまし
 たように、各社の役員は、應本社社長の推薦すると
 いう内規の條項はありました。

○脇村委員。その場合の各社はどの範圍ですか。

○石里氏。公系會社でありますが、公系會社以外には

外務省

裏面白紙

をとり取極もない。G.H.Qとも交渉致しませんが、出石

崎の家と會社との関係は全然なにもないといふことを

申しましたが、安田にも三井にもあるのに三菱トハラス

ロドがなりとは何事だと言はれたが、ないものはない

とあります

○脇村家。岩崎家の家憲はありますか。

○石黒氏。社に對する芥太郎の之から教訓められたも

外務省

裏面白紙

のは、おたものはありますか、山崎家の内蔵はなりの
ごあります。

○脇村委員。合資会社の社長、副社長は山崎家がな
人はないのですか。

○石里氏。合資会社はなりのあります。業務執
行社長の二人をいいますね。弥之助さんと久弥さん
あります。

外務省

裏面白紙

○高垣正久。刷り物に、今系會社として十一社とありま
 しますか、東山曲辰事とか日本アルミウムのような
 三菱の本社の持株が大部分あるのはどうして今系
 會社の中に入らないのですか。

○石黒氏。東山曲辰事の関係を申し上げますと、これは
 久弥先生の個人の資金と申しますが、資本と申しま
 すか、それだけであつたものであります、初めから

外務省

裏面白紙

合資会社になつたよつたな所謂三菱として、両家
 から出資して居るといふ面とは全然違つたものであり
 ます。それで何處までも別のもので、たゞお互の技術
 上の連絡があるといふだけで、コントロールとか、役員会
 の面の連絡は截然たる区別をつけて、混念しないよう
 にしてしまつたのであります。たゞ日本アルミニウムと
 かは成立する性質が違ひますのであります。先

外務省

裏面白紙

刻私が申し上げましたように、これは本當の國の仕事
 とく、最初からやられたものでない、日本マルミニウムは
 色々なものでか——住友とかた向とかか——緒にやて居つ
 たものですが、結局三菱も緒に同じパーセントで
 持て居つたのであります、ところが色々なとこ
 ろの脱落をしたりして、われくの方が多く持ち、
 役負をおさぶるを得なくなつて、われくの方の

外務省

裏面白紙

関係会社といふことになつて居りますので、その
成立が違つて居るのがあります。

○賜村委多。今日の話を纏めて——肝腎のところを
わねくとして纏めて目入ますと、三菱財閥——

三菱一族或は本社との関係は、三菱一族といふものは
直接各社と関係なく、本社を通じてその事業界
に大きな関係があるわけで、一、二直接自分達の

外
務
省

裏面白紙

本
 ボケートマナーの事業はあるが、大佐の事業の中
 心は本社にあり、本社を通じて分系會社があつ
 て、その分系會社におりては、役員は本社の社長の推薦
 ということか内規になつて居て、そして分系會社の役員
 多くは大佐本社から派遣する人と、分系會社で多年
 訓練された人と成立して居る。そういう風に認解し
 て.....

外務省

裏面白紙

の白黒二氏。本社のほう行った者と夫との合社で訓練され
 た者と成立して居る比は半か／＼では無い。本社のほう
 行っている者は、銀行に對しては、時彦彦太、船田
 一雄という大衆の信頼を受け得る状態に持つて
 行く、出石崎小彦太氏は一度もあたことは無い。そうい
 う程度のものでシテいます。その社の者が——常務
 は一人職という建前があります。

外務省

裏面白紙

○脇村委員。しかし、夫等はみな社長の推薦という内規か歴然として存在して居る……。

○残倉氏。内規はあつたか、事実上は違ふということ
てあります。

○脇村委員。実情は、本社社長の推薦ではなかつたと
いうことですか

○石野氏。御参考返に申上げますか、今のミスター

裏面白紙

ウェールズ・コンターソンが別でディスプレイしたことがあ
 る、実際上において、其等から説明の時に聴き取
 った通り、本社の社長が総べての者を推薦したかと
 申しますと、そうではない。各系会社の社長になる
 場合に、これかなるという者はない、その時は各社の
 常務會の推薦をり、詮衡は内々であるも、私かな
 りますという事はない。辞めて行く社長が君

外務省

裏面白紙

わえ呉れ給えだけうは濟まな。その場合、社長
の処に例に行て「君、非常に馬鹿だが、引受け
て呉れ」といふのが例である。実際に常務
以下は事務報告が主でやっておりますから――
ハンターソンの処に例の社長の田中さんと私と行て
議論くまいたか、事實の履行は斯うである。社
長は斯うであるが、常務以下は自主性に委して

裏面白紙

居る。そういう者が總會で互選されて決定して来
 たのだ。ハロンの石崎が「ノー」と言った方がいいですか、
 その時は条文もありますし、「ノー」ということは今後
 行かっただけで、その場合は従はざるを得ないと説明し
 たいのであります。

○脇村委員。その是非は非常に難しい。重大な問題だと
 思っていますね。ディレクターの問題だと思えますね。

裏面白紙

私の方で申上げに以外に、本社から出た役多しもない
 又その社で育った人もない、社外重役も居られたい
 思いますが、社外に育った人と本社からのアポイン
 トということがありますか、社外で育った人というのは結局
 内規の、社長の推薦というものを必要として居る
 のだということですね。本社社長の推薦で役多
 くなった人で、本社社長に會ったことのない人もあつ

外務省

裏面白紙

たひせうね。

○石見氏。その方が多いと思ひますね。終戦直前の

船田、加藤、山室、御友というのは参集して居

りますか。後者は今は知らく——現在常

務取締役では、なにが本社の長か工場でも廻って

説明した時、そのチャンスで知る位で、顔を知られ

て居る者は非常に少ないかろうと思ひます。太

外 務 省

裏面白紙

平の世になると益々、色々規則が澤山出来て、國家
 だも、會社だも、役人だも、機關だも、いろいろある
 ことか、難しい内規は僕は大嫌だ、佐々藤一
 君先生は斯ういふことを言はれて居る。本社は
 総務部の一ツあるだけ……。
 の杉委負、内規と中実と違ふところは、どうして
 われぐにかハッキリ知ることをお尋ねしますか

外務省

裏面白紙

○石尾氏。 實際の慣行は正道に申しますと、そう

いふ風な文書が各分系へ社から出るといふこともあ

りまふんど、それは個人の会社の社長をう常務が

報告に行きなり、呼ばれお話をしたりする時に、

口頭のお話はあつたかも知れませんが……。

○山田氏。 事後報告はあるのでせう。

○石尾氏。 事後報告もありません。

外 務 省

裏面白紙

の御村長。理事則に総務部長の処に各系各社のとうい
 う事もやうに居る方が来て、話をし、本社と
 して或は株主として、社長として行きなさいという時
 になって初めて株主総会で推挙されるという事だ
 なるかとはありませんか。われ／＼が外部から相心
 像すると、さういふ風に……。株主総会には本社
 から派遣されて居る役員の方も出て居ります。

外務省

裏面白紙

その中から普通議長たり社長に新しい役員
の推薦を任しますというのか、普通の株主総会
の通例でありますか、本社に行き豫め、少くとも総
務部長にお話し、そういう風にするという打合せは
しませんか。

○石里氏。総務部長には……。

○脇村氏。本社にまで、総務部長にお目にかかって

外務省

裏面白紙

来るべき株主総会には斯ういふ風にしたいという

相談はありませぬか。

○石黒氏。理事と長は船田さんですか。船田さんの処に

行くてます。

○船田委員。船田さんにお話しなすうて、船田さんか御之息

見とては、社長と御相談さすうてかて知れま

せんか、それを書類にして総務部長から船田さ

外務省

裏面白紙

んに廻ら、社長に廻しと決裁の印をお取りになると
いふことありませんか

石里氏。それはありません。

の北原氏。内規には、そういふことはありませんか、事前

におた書類があるという譯かはない。横主総会

で決まてしまったものは、事後の報告は文書であり

ます。

外務省

裏面白紙

○石里氏。役員の年俸に、これだけの金を支給する
かという事は、私共の処に、斯うしたいということか
未
ます。

○脇村委員。書面でございますか

○石里氏。口頭も書面も区をしております。

○脇村委員。それは、創設は本社で育った人という事に……

○山田委員。このクラス以上ですか。

外務省

裏面白紙

の石里氏。職系から上つて来る人は全部来る人です
 の脇村委員。内規はあるが、その内規には文書の手前の
 承諾を取るといふ習慣はなかつた。しかし口頭で
 話か或はあつたかも知れないが、総務部長として
 はなくて理事長、社長の次に直接あるかも知れない
 といふのですね。
 の石里氏。それは、私は断言は出来ません

外務省

裏面白紙

の協村委多。事後に書面で誰々が就任したという報告
 はある。それから、社長から役員になられた方の俸給
 については、これは報告でありますか。
 ○石見氏。大俸率俸の八千円なり、萬円なり、半
 業年度によりまして……。各社勝手手に区をな
 ことをされると均衡が取れないというツウ點で相
 談があった。

外務省

裏面白紙

○脇村委員。 俸相談があるのですね。

○北原氏。 経理統制令で役員の報酬は幅を決

められますので、それを決める時に会社は大体同じ

基準で決めて、その枠の中だけでやっていますので

で、俸給の点は伺って来たわけですね。

○脇村委員。 多少具体的にどうなると来たわけですかね。

○高垣委員。 極めて簡単に書かれていますか、三菱本

外務省

裏面白紙

社の事業と申しますか、事務と申しますか、どうい
うようなことの御説明を致うと或は長くなうかも知
れませんが、何回單に刷り物になつたものはあります
か。實際の事務とか業務というものについてあり
ませんか。

○ 脇村 牙め久。 本社の職名はどの位ありますか。

○ 磯倉 氏。 従前は四百名でございますが、印刷工場

外 務 電

裏面白紙

きで含めて……。

○脇村委多。金作の為のものですか、本社たけのものですか。

○磯倉氏。社室の守衛とか、エントリターとか陸奥分庫

ります。

○石黒氏。本當の職多は百四、五十人位でせうね。

○北条氏。後は印刷工場の人とか……の

○山田委多。各系各社の職多の方にたにか名譽を賜うね。

外 務 省

裏面白紙

タイトルを廻る制度はありませんか。

○石黒氏、なにもありません。

○脇村委員。官吏ですと勅任官とか委任官というのがありますか。

本社から重役という名義が出ますか、辞令とかは。

○石黒氏。本社からは何もありません。株主総会で

選任された者だから辞令はありません。

○山田委員。タイトルなしですね。

外務省

裏面白紙

○石黒氏。ソウです。

○脇村委員。職名はいろいろ風に身分が分れて居た

んのですか。

○石黒氏。職名は商業学校を出た者から庶民、庸

使、庸使は考トです。並日通商業を出た者

は庸使となす、一定の処に行きますと事務に

なす。専門学校からの者は初め事務力であり

事務名

裏面白紙

ます。事務係から——元の混乱した時は二百五十
円で切りまして、そこから上は、優劣を有る者は大部分
なおりますか——参事というものになり、それが最
高でありましたが、人事が行詰って、手詰りの者が
多くなったので、参事が出まわりました。斯ういう段階
であります。

○山田委員 各社を通じてですか。

外務省

裏面白紙

石黒氏。 公和會社は一様に因りてあります。

北原氏。 正員は濠洲員とありまゝし、正員は中等

正員校を出た者、正員は専門校以上の人

正員の中に事務、技師、その上に参事、参事と

いふこととなります。 参事は二百五十人以上の者か

ら、参事は月給五百円以上になった者から選んで

参事者にするといふ區別があります。

外務省

裏面白紙

○山田委員。 参考はタイムトルで、読んで字の通りで

ない……。

○北原氏。 役名がついています

○石黒氏。 工場長とか並普通の子供と云うわね。

○脇村委員。 先程お尋ね致しました分業会社の役

員と本社との関係ですが、先程来脚説明の

関係は終戦後いつ頃まで続いたのですか。

外務省

裏面白紙

の石黒氏。終戦後の二十年の十一月一日にわたくしは本社
 を解散の方角に導き行き、分業会社をどうするかと
 いうことが、定款の変更を致しました。その時が公式のも
 のであります。社長の石崎中社を以て終戦の年の
 七月頃から身体の不都合が悪くなって勤めに引け能
 って居り、殆どというよりは社へ出て来て居るようになった。で
 十一月の総会は非常な変革的なものだから自分

外務省

裏面白紙

が行つて、總會を主宰するところの意氣込んで居る水
 たりて、二十四日の日に倒れて病院に入られたので
 あります。それから、その間というものは、終戦直後に
 政府から色々指令がありまして、斯
 ういふ様構は一切停止した状態の中で、各社の常務
 から上を呼んで船田さんから各社の人事権という
 ものには一切内面的に干渉しないのだからという事と

外務省

裏面白紙

聲明されたります。

〇 脇村委員。 少くともそれ頃までの方はそうだった。 従来

のやり方だったという風に思えて面白いですか。

〇 石黒氏。 事実上その頃までですが。 中野太一さんと私と

か 諸に關西を無理に旅行をしようとするなら直ぐ

病氣になつたので、七月以降は本社にちつとも出ら

ななかつた。 初めて十月に方針を決めておられた

外務省

裏面白紙

その間は相當な混亂状態中で、事實上な人もあ
まふたがうたがす。

○協村委員。當分の理事は船田さんでしたか。

○石馬氏。ハア。

○高垣委員。個々の場合にもう少しは資料が来て来た。

とよいか……。各分系會社、関係會社と本社

との關係を詳解する為には資料が有りとなね。これだけ

外務省

裏面白紙

では十分ではないかと思ひます。ないとならばこむ
を相待ないと思ひます。

○脇村委員。公率會社との関係は多少幹部が
て来たようですが、関係會社との関係については……

○兵田委員長。内規の條文は出してありますか。

○北平氏。全部著したものは事務局の方に出して
あります。

外務省

裏面白紙

○脇村委多。内規通りだというなら、それだけよいので
 すか、内規が、あつて、その通り動いてなかつた。事實
 違ふといふことになりますと、その方の動きを見るに
 こゝその御説明を、一と頂かないと、あなたの方には
 判らぬと思ひますね。

○北原氏。確信がある反證をあげて居りますかね。

○脇村委多。内規があつて、内規通りに動いて居るのだよ

裏面白紙

その反證は、瘧などという風には思いませんから、世うい
う風には動いて居るのです、といって頂かないと、内規を
打消そうとするならば、しっかりと資料をお出し
頂かないと、いうも、内規はあつたが事実とは書か
居たというだけでは不十分ではないかと思ひます。

○福田委員。現に斯様なことがあつて、陳述が斯様にあ
つて、裁判に使用されたとか、他の關係において又

外務省

裏面白紙

敵のよくなもの紙に残って居るといふことを仰有ら
 んと、だが皆さういふのですというだけでは、どうですかと言は
 て論ずるより任得かない。申立のナンともしも材
 料を提供になることがあつた方の立場に有利にな
 ると見て居る。三菱という本當の大財閥としてみは
 機構が簡單におきて居りますね。すべつか
 人格主義だと言つて居りますね、絶対の人に委

外務省

裏面白紙

しと居るといふこと、さういふことを力説して居らるるか

岩崎家の人を置と居る——人が行つて居るのと

いゝが、同時に重役に勤務して居る者と人事

信にかけて見ると親族関係であるといふことに見

えますと——あなたの方の事業をまゐて来たか

から、なかく仲有るのだから分りませんからね。

○上田専好長。 事実を證明するものがあるといふのです

外務省

裏面白紙

かね。

の福田泰久。三菱交は人の動きが非常に少い。人格主義

の結果であると思ふか……。採用に当たっては、

職にせられないかという風に見られて来ているから、

色をなすから言うて頂きたいと思ひますね。資料が

足らぬとまことに遺憾の事かと思ひいひひたりかと

思ひます。

外

務

省

裏面白紙

○山田委久。

資料は焼失されれば居ませんね。

○石黒氏。

焼きましたか、接收されませんでした。

十年の十二月の大晦日にどやくと来て接收され

まして、休みのうちに色々もろろを引っかき廻され

て、色々もろろがなくなつたという事実はあります。

○福田委久。

押収になつたものはあるのですか。

○石黒氏。

押収になつたものはありません。(公式に

外務省

裏面白紙

そういふものを押収されたものはないと思ひます。

○北原氏。文書につれてはありませぬ。

○福田委員。持つかれた健康……そういふようなものは

なんとも方法かつぐときえは或はどつとも知れな

いと思はざるを得ないようなものでありますか、

あなたの方は天下の大財閥なのに餘り同甲

なから………動きか、人が中心になつて動いて居

外務省

裏面白紙

るのたということを承るは、われごとくは事業

一般の分るものも世間はなりと、三菱の事業業は分り

ませんよ。

の北原氏。内規はありましたが、実際はそれによつて

なかつたといふことは、應聲明書かたいもので

差上げて居りますか、各人の場合についで、自分

はどういう処から話か、たかといふことは、銀行な

外務省

裏面白紙

ら銀行で、社長が自分に話かあて、社長が証明
して、本社に諮って、その人の権限を決めれば個人の
反證かあ来るんではないか……。

○脇村安久。 われごとく、内規かあるとなると、社長

はその場合には、本社の辞解を得たかつたならし

何故辞解を得たかつたということを証明して貰

はないと……。 本社と信託の間に役受の内

外務省

裏面白紙

規がある、しかしこの人の場合には本社の通解
 を得ませんでした、これは斯ういふ為にとりこま
 言つてせうはんと困るのですね、社長と推世鷹さ
 れた人の間だけの話合いだけではないかと思ひます
 ね。
 。世鷹氏。一般的に申しますと、役員の選任に關
 しましては、先刻申上げましたように三菱本社

外務省

裏面白紙

の分第各會社役員の選任に關し「分第
 各會社取締役、監査役は三菱本社社長之を
 推せんとす」といふ内規があります。その独立の
 會社たる分第會社の自主性を尊重し、分
 第各會社の役員の選任は各社の自治に委ぬ
 る方針を堅持して居るので実行上は「本社
 の役員を分第各會社の取締役、監査役に

外務省

裏面白紙

推薦する場合、(ロ)各系各社長が社長就任に
 関し豫め本社社長の承認を求むる場合。の外は
 役員選任に關しては各社に任して居つたという……
 の脇村委員。一任したといふのは事實上一任しなうか、當
 時の理事會でお決めに成つて正式に通牒を出した
 のか、銀行なり銀行の社長があなたの方の理事
 長なり社長にお會ひの上で話をして居る。全

外務省

裏面白紙

然話をしなつたというなら内規は空文なんだと

思ひますね。理事長も社長にお話をして

居るといふことになると、内規が死んで居るのが、生

きて居るのが分らん……。

○山田委員。明後年の初年は――初めは推せ薦する建

止前であつたか、昭和十六年に大々的に制定して

成文になつたという事は、餘程の反證がない

外務省

裏面白紙

とね。

の湯村委多。内規をお作りになつた時の事情、その間

の談合が内規を作つた時になつたと思ひますか、と

の時の談合を聴きたいと思ひますね。

の北原氏。船田さんあたりは聴いて頂くと分らんと思

いますね。

○杉委多。事實をはっきり説明するものがありません

外務省

裏面白紙

とよいめですかね。

○石黒氏。 文書ほとんど、心當りはありませんね。

○脇村委。 船田さん、平井さん、田中さんのうちで誰か

一番おうち易いですか、

○石黒氏。 船田さんは病氣がすのび……。

○脇村委。 文書があれば文書を出した方がよいが……。

○北原氏。 お伺いを立てた書類も、承認した書類も

外務省

裏面白紙

はいかひす。空算ろないというのか。おかしいといふか。せ
うか……。

○浅倉氏。われ／＼とはは全文であったというのです。

○石黒氏。人を信用するといふ——主筆がであったか

も知れませんか……。

○福田泰久。大変くだいよろですが、われ／＼の方で

受取りますとね、あなたの方のまはることは、三井文庫

外務省

裏面白紙

しい陳述です。人格主義だから、嘘を言わな
 いから御信用なされたらよりよろうとこののですか、
 いせん、委員会は、そうならうというのでは行
 詰りますからね……。

○上田委員長。書面を探して頂いて、おして下さいませんか。
 ○北原氏。内規はあったんだけれども、実際はなかつ
 たんだというのを、要する言はなくてはおらうたかい

外務省

裏面白紙

みすか。

杉委多。あるといふことの証明の才ハツキリします

ね。

石黒氏。船田之に奉て及そ、實際の話をして世々

りたりと田心うのびす。

の上田委多長。おけは仕様がなりが、そこの意味の

書面にもあして世々いたりと思ひます。

外務省

裏面白紙

○賜ねる。初達は、内規があるのに拘らず、各個の場

合、社長が本社と連絡をとらなかつたと假定しま

すと、ないというのは何故か、というその説明が欲しい

のである。内規がなければ連絡を取りませんでした

というて済みますか、内規があるのに連絡をしない

のは、連絡をしないで済むという理由を説明しな

いと、足りないのかはなにかと思えますね。

外務省

裏面白紙

○石見氏。社長に會つて、社長にするという時に、お墨
 付を世見うとか、書面を世見うということとは絶対に
 ないことを、私申上げてよいと思ひます。

○浅倉氏。色々と言ひ類が各社から来ますが、人事の
 ことは觸れて居ません。従つて事前には伺があつて、
 本社からどういふ通知を出したといふことは實際
 ありません。事後報告なかりあつたといふことで

外務省

裏面白紙

すね……。

○脇村委員。その場合の事後報告は……。

○浅倉氏。並日通の株主には並書一枚でやります。

○脇村委員。それがないに、特別の事後報告の形式

かありますか。

○山田委員。それは社名まで記入せまるか。

○浅倉氏。決った後のもくろみから……。

外務省

裏面白紙

○ 脇村 委久。 今系會社の社長は理事會におて居
るがすね。

○ 石黒 氏。 本社の重役會におて居ります

○ 脇村 委久。 理事會は月に何回開く。

○ 北条 氏。 取締役で理事會に入つて居る。へんげかある

のす。

○ 脇村 委久。 総務部長もあつたか。

外務省

裏面白紙

○石黒氏。今うない時、引、張り出されて聴かれるの
です。

○杉本氏。理事会の記録はありませんか

○石黒氏。公系會社の細かいことは何もないうつであ
ります。

○上田氏。今日はお苦勞かまわした、これで終りま
す。

外務省

